

開催期間:

2012 年 4 月 7 日

一回目の送付の際は文字は黒で 2 回目以降は修正部分を赤字にしてください

スタッフ:

10Members

簡潔な短い文章にして下さい。やっつけ仕事禁止

支援者:

福山市役所
地元高校伝統音楽部
地元伝統音楽会
地元大学煎茶部
地元大学生(10 人)
地元複合商業施設

簡潔な短い文章にして下さい。やっつけ仕事禁止

予算:

1289 US dollar

簡潔な短い文章にして下さい。やっつけ仕事禁止

利益／損失:

None

簡潔な短い文章にして下さい。やっつけ仕事禁止

誰の為に？

福山に住み暮らす人々47万人

主語を忘れないように「我々 JCIOOは、」「我々委員会は、」です。

<p>目的:</p>	<p>我々JCI 福山は、市民参加型の地域開発事業を構築する。 このことにより、市民が PositiveChange して、 自主的、積極的に地域開発に関わることを目的とした。 その為に、 ①市民に地域開発事業へ参加する機会を提供すること。 ②地域開発事業に関わる Active Citizen を増やすこと。 ③Active Citizenが地域社会に Positive change を創造できるようにすること。 以上のことに、我々メンバーが積極的に関わりました。</p>
<p>3 行程度 400 字以内</p>	
	<p>最初に目的、後半に背景説明を簡単に書いて下さい。</p>
<p>簡潔な短い文章にして下さい。やっつけ仕事禁止</p>	
<p>概要:</p>	<p>JCI福山は、市民参加型の地域開発事業を構築するために、以下のことを実施した。 ①市民向けに2回の地域開発のセミナーを行いました。我々は地域開発に積極的に参加する市民を増やした。 ②セミナーに参加した市民を中心に、積極的に地域開発に携わる 101 名のサークル(グループ)を構成した。 ③サークル(グループ)内の市民が立案し、地域開発の5つのプロジェクトチームを結成。</p>
<p>全部で 400字以上</p>	<p>イベントの説明ではなく、 事業としての運動の大きめで 解り易いストーリーを 箇条書きで書いて下さい。</p>
<p>主語を忘れないこと、単語は 7 つ以下で 1 文とすること</p>	

結果をきちんと確認しないとココは書けません。
解らない場合はすぐに関係者、参加者にアンケートをとり
関係者からのプラスとマイナスの評価を入手して下さい。

結果:

我々JCI福山は、市民に地域開発事業に参加できる機会を提供した。
結果 active citizen を増やすことができました。

市民に地域開発事業に参加機会を提供できた。

①第1回地域開発のセミナーに45名の市民が参加した。

彼らは地域開発事業についての知識を身に付けた。

②地域開発事業を实践する第2回地域開発のセミナーに27名の市民が参加した。

彼らは地域開発事業を立ち上げる手法を学んだ。

③2回のセミナーに参加した市民を中心に、地域開発事業に携わる 101 名のサークル(グループ)を立ち上げた。

市民が積極的・自主的に地域開発事業に関わった。

①サークル(グループ)内で以下の地域開発の5つのプロジェクトチームを結成した。

- ・地元伝統音楽プロジェクト
- ・地元お土産プロジェクト
- ・地元絵本作成プロジェクト
- ・地元カード作成プロジェクト
- ・地元商店街プロジェクト

②各プロジェクトのリーダーを市民が務めた。

③各プロジェクト月一度以上のミーティングを開催した。

市民が積極的・自主的に地域開発事業に関わり、以下の行動を実践した。

①地元伝統音楽プロジェクト、地元商店街プロジェクトは、サークルに所属していない市民と一緒に地元の祭に参加し活性化させた。

②地元お土産プロジェクトは、他の地域に地元の知名度を向上させる為、市民(508人)にアンケートを実施、地元のお土産ベスト10を地元複合商業施設で発表した。

③地元絵本作成プロジェクトは、郷土について語れる市民を育成する為の絵本を作成した。

④地元カード作成プロジェクトは、地元の子供に郷土に対する学習ツールとして、トレーディングカードを作成した。

お土産とは、地元の名産品を他の地域に行くときに持っていくギフトである。

これは、日本にある文化である。

コミュニケーションを取る為に非常に大事な習慣の核となる産品の事

上記の結果の確認方法を書いて下さい

検証結果を簡潔に書いて下さい

主語を忘れないこと、単語は7つ以下で1文とすること

行動:

2011年11月～12月: JCI福山は、市民参加型の地域開発事業について、地域の有識者、行政、大学生などと意見交換をした。

2012年1月～3月: 我々は、市民参加型の地域開発事業についての立案、セミナー講師選定、参加者募集を行った。

2012年4月7日: 我々は、第1回地域開発セミナー開催した。

内容は、講師による地域開発事業についてのセミナーを行った。

2012年4月22日: 我々は、第2回地域開発セミナー開催した。

内容は、地域開発事業を立ち上げる手法についてディスカッション形式のセミナーを行なった。

地域開発事業に携わる101名のサークル(グループ)を立ち上げた。

2012年4月29日: サークルメンバーが議論を行い、5つのプロジェクトを結成した。

2012年5月～ : 5つのプロジェクトが、地域開発事業実践に向け、それぞれ月一度以上のミーティングを開催した。

2012年10月7日: 地元の秋まつりに、地元伝統音楽プロジェクト、地元商店街プロジェクトが参加した。

地元伝統音楽プロジェクトは、地元高校生と一緒に、伝統音楽演奏会を開催した。

また、市民に伝統音楽を演奏する機会を提供した。

地元商店街プロジェクトは、地元大学生と一緒に、市民に茶道体験をする機会を提供した。

2012年10月28日: 地元お土産プロジェクトが、地元複合商業施設で地元お土産ベスト10を発表した。

2013年3月27日: 地元カード作成プロジェクトがトレーディングカードを完成させた。カードは、販売予定である。

2013年3月31日: 地元絵本作成プロジェクトが絵本を完成させた。

絵本は、ホームページより市民が自由にダウンロードできるようにする予定である。

2013年4月23日: 地元メディアに対し、絵本、トレーディングカードの完成発表を行なう予定である。

メディア関係者は、21名が参加予定である。

全部で200字以上
2000字以内程度

考察や推奨

JCI 福山が行った市民参加型の地域開発事業の構築は、
地域開発事業に参加する機会の少ない市民に対し、Positive change する機会を創出した。
能動的な市民が自立し、地域社会の向上・発展を実践するためには有効な事業である。

また、市民同士のつながりを構築することができ、地域開発に関わる市民が増えた。
結果、各プロジェクトは継続される必要がなかったことが重要。

サークルに参加した学生が、社会人と一緒に地域開発事業を行うことで、Positive change した。
その結果、2013 年 1 月に、サークルに参加した大学生を中心に新たなプロジェクト(学生プロジェクト)が結成された。
これは、JCI 福山が、幅広い年齢層に地域開発事業へ参加する機会を提供した結果である。

	<p>JCI 福山も市民と地域開発に携わることで触発された。 市民参加型の地域開発事業を担当した委員会の各種出席率は、以下の結果です。 ①2012 年度に開催した計14回の委員会の出席率は平均88%であった。 ②2012 年度 JCI 福山が開催した計 12 回の例会の出席率は、全て100%であった。</p>
	<p>JCI 福山は、市民が地域開発事業に参加する機会を提供した。 その結果、市民が PositiveChange して、自主的、積極的に地域開発に関わった。</p>
全部で200字以上	市民参加型の地域開発事業を担当した委員会が、JCI 福山で 2012 年度最優秀委員会を受賞した。

以下の方より評価をいただいた。

地元商店街プロジェクトに参加した大学生

「JCI福山の皆さんの企画に参加して本当に多くの経験、出会いをいただきました。
今後活かしていきたいです。」

福山市役所職員

「JCI福山の取り組みのおかげで、地域の魅力を発信することができ、
多くの市民が郷土愛を育む機会となったと思います。今度もこのような取り組みには、
福山市としても積極的に協力していきたい」

地元カード作成プロジェクトに参加した市民

「カード作成をすることで、地元の魅力を再発見し、郷土を愛する気持ちがより
大きくなった。今後も、積極的に地域開発事業に参加したいと思う。」

地元絵本作成プロジェクトに参加した高校生

「私は高校生でしたので、大人の方と関わることでいろんなことを学びました。
今大学生ですが、参加していたことにより人とうまく話が出来るようになった。
また、福山の事をより学ぶ事ができた。」

各種メディアに評価を受け、市民参加型の地域開発事業が取り上げられた。

①一般新聞紙(発行部数:日本全国 7,800,000 部発行)

地元お土産プロジェクト

②地元新聞紙(発行部数:周辺地域 125,000 部発行)

地元カード作成プロジェクト

③地元情報紙(発行部数:周辺地域 80,000 部発行)

地元伝統音楽プロジェクト、地元商店街プロジェクト、地元お土産プロジェクト